

16.一覽表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル

<注意>

- 異なる には、独立に 2021,2019,2016 のいずれかが入ります。
更に、これとは独立して、異なる には独立に 1, 2, 3 のいずれかが入ります。
 には 1, 2, 3, 4 のいずれかが入ります。
- 例えば、 CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
において、 が 2016 で が 2 の場合には、ファイル
2016CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 2 台リリース配布版) .xlsm
を表します。
- 実際のそれぞれの説明では、2021版3台の各ファイルを用いて説明していきます。
- ファイル
 CV-DataBaseAdvance スーパー呼び出し印刷 Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance 呼び出し印刷 Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xls
および
ファイル
 CV-DataBaseAdvance スーパー呼び出し印刷 Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance スーパー呼び出し印刷 Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
には、入力シートの行数追加・削除に関するマクロ機能はありません。

<目次>

- ファイル
 CV-DataBaseAdvance40Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P4
- ファイル
 CV-DataBaseAdvance100Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P5
- ファイル
 CV-DataBaseAdvance200Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P7
- ファイル
 CV-DataBaseAdvance400Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P8

5. ファイル

CV-DataBaseAdvance600Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P10

6. ファイル

CV-DataBaseAdvance800Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P11

7. ファイル

CV-DataBaseAdvance1000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance1000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P13

8. ファイル

CV-DataBaseAdvance2000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P14

9. ファイル

CV-DataBaseAdvance4000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P16

10. ファイル

CV-DataBaseAdvance8000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P17

11. ファイル

CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P19

12. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P20

13. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合: P22

14. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合: P23

15. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合: P25

16. ファイル

調査書等各種証明書作成システム Ver1 試用版 (CV-DataBase8000Ver1 サンプル) .xlsm

調査書等各種証明書作成システム Ver1 (CV-DataBase8000Ver1 コンピュータ 台リリース版
サンプル) .xlsm

の場合: P26

17. ファイル

平成28年度第3学年個人別会計報告学年分試用版 (CV-DataBase100Ver1 サンプル) .xlsm

平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1 コンピュータ 台リリー
ス版) .xlsm

の場合: P28

18. ファイル

CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsm

CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合: P29

19. ファイル

CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsm

CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合: P31

20. ファイル

CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合: P32

1. ファイル

CV-DataBaseAdvance40Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

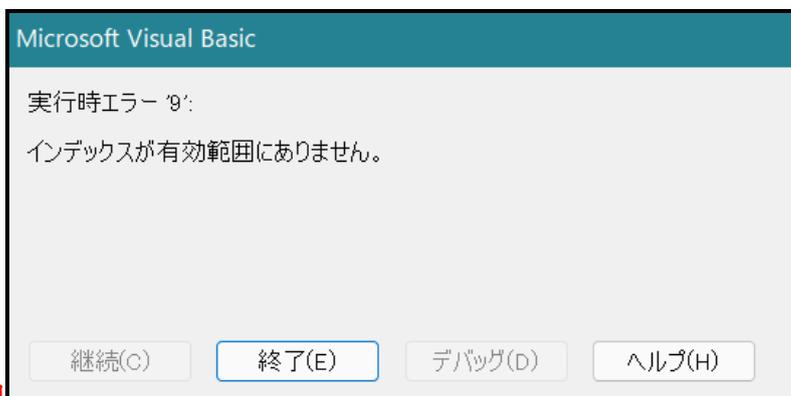
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の[図 1]の画面になります。

[図 1]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 100 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 1]



2. ファイル

CV-DataBaseAdvance100Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ○台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の[図 2]の画面になります。

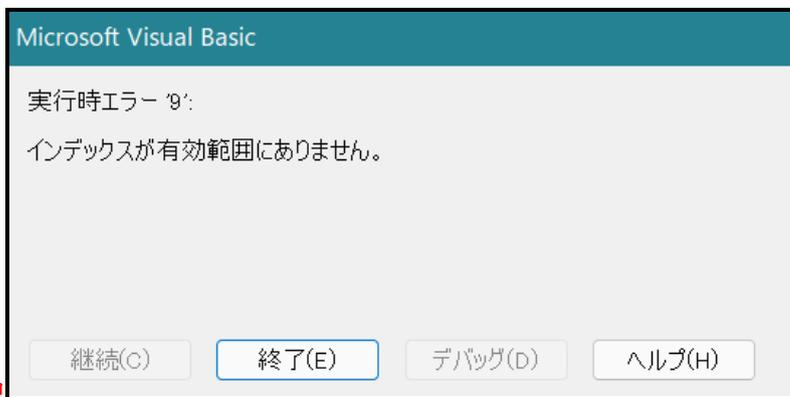
[図 2]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力

設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図2]



3. ファイル

CV-DataBaseAdvance200Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

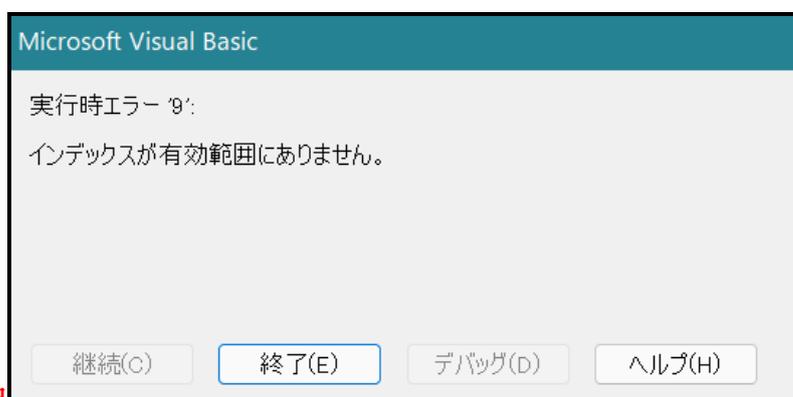
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 3] の画面になります。

[図 3] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

チェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中 **のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。**

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 100 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 3]



4. ファイル

CV-DataBaseAdvance400Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

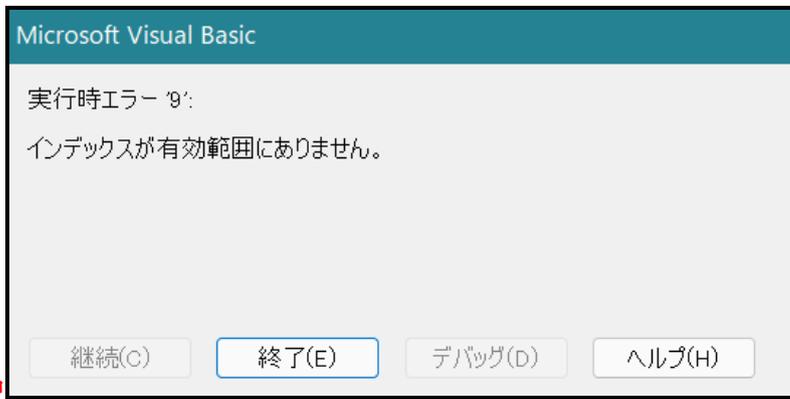
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 4] の画面になります。

[図 4] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意くださいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中

のエラーメッセージが表示されて印

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図4]



5. ファイル

CV-DataBaseAdvance600Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

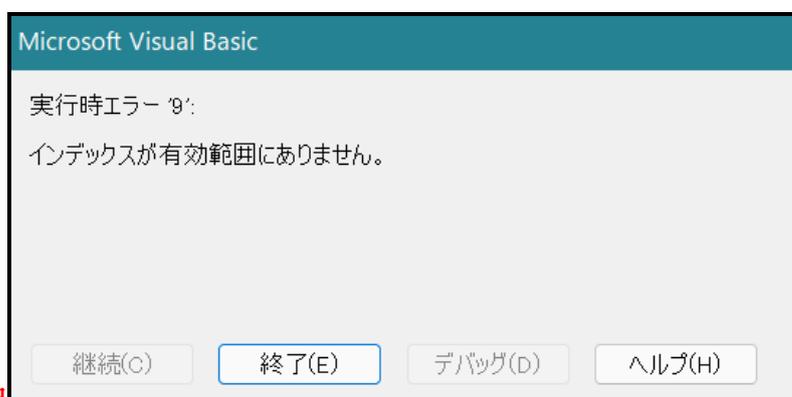
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 5] の画面になります。

[図 5] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 100 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 5]



6. ファイル

CV-DataBaseAdvance800Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ○台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

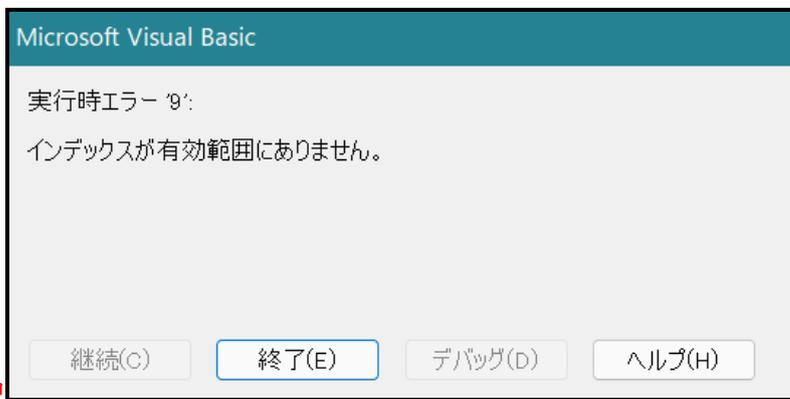
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 6] の画面になります。

[図 6] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中

のエラーメッセージが表示されて印

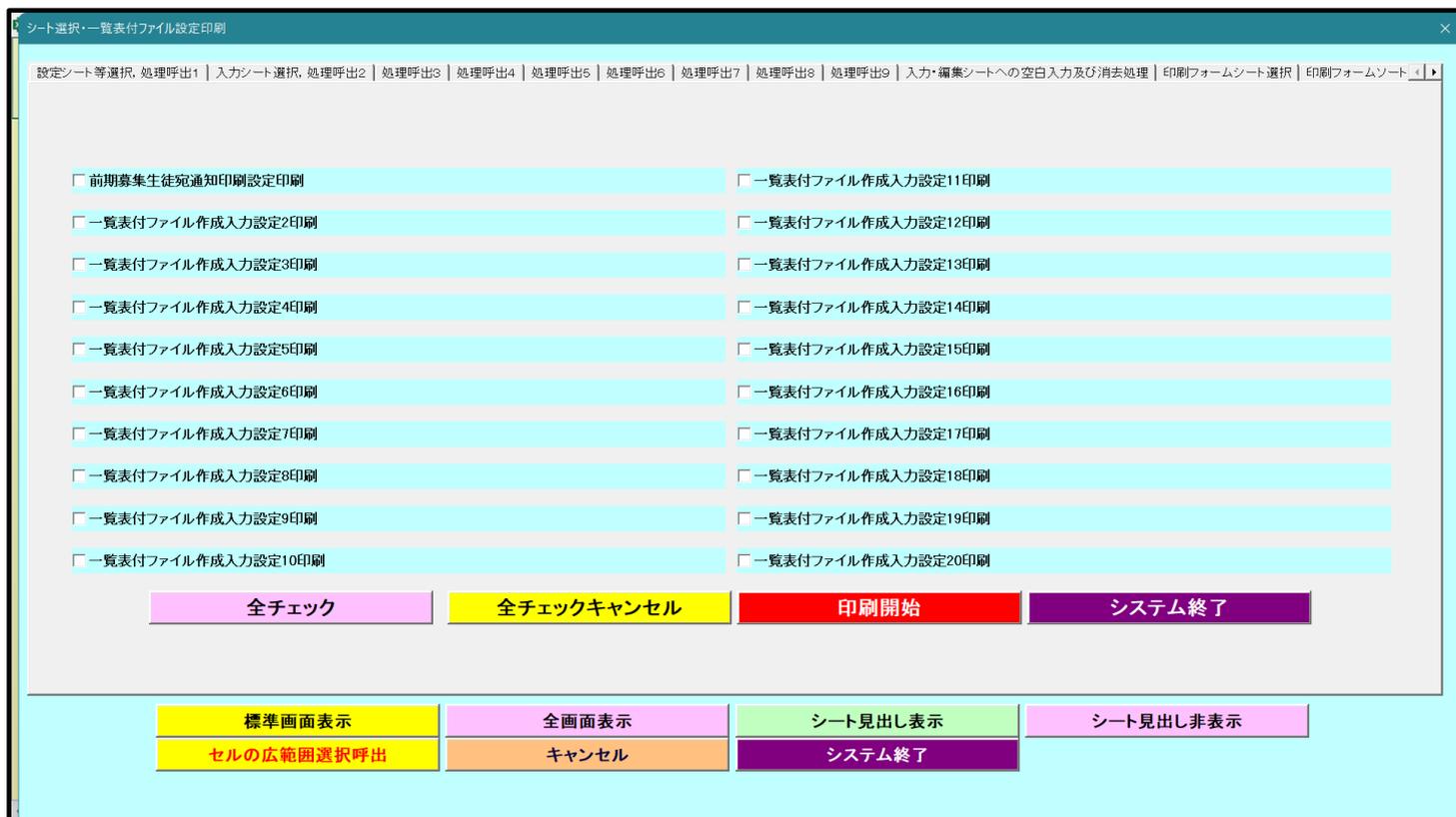
刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデータ」で100万のレコードにデータを入力してシート「印刷フォーム」にデータを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図6]



7. ファイル

CV-DataBaseAdvance1000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance1000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance1000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

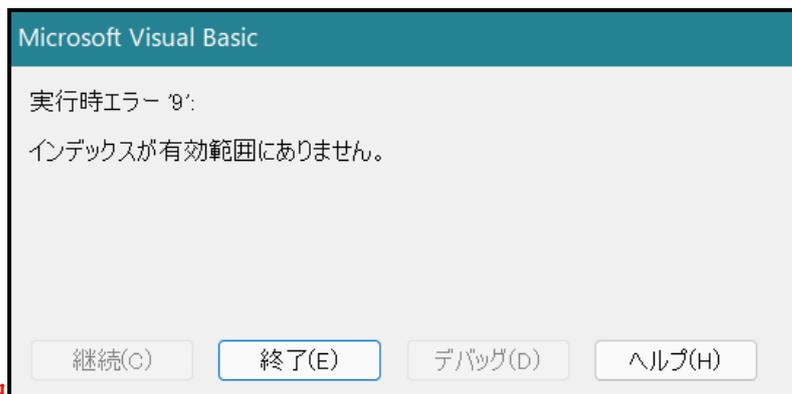
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 7] の画面になります。

[図 7] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中 **のエラーメッセージが表示されて印**

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 100 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 7]



8. ファイル

CV-DataBaseAdvance2000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ○台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

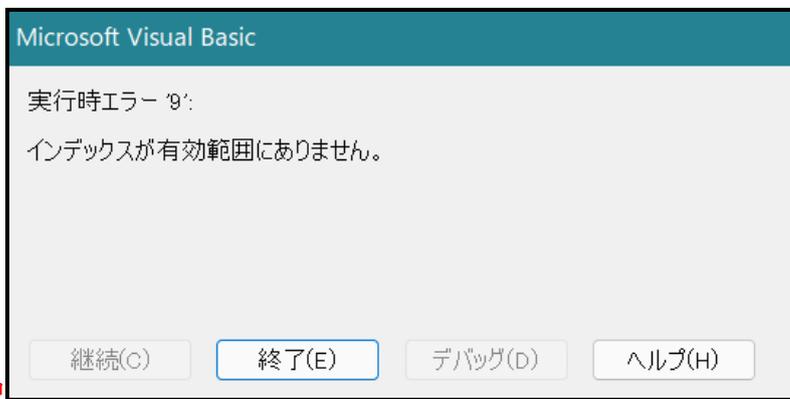
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定1選択印刷** を選択すると下の [図 8] の画面になります。

[図 8] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中

のエラーメッセージが表示されて印

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図8]



9. ファイル

CV-DataBaseAdvance4000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

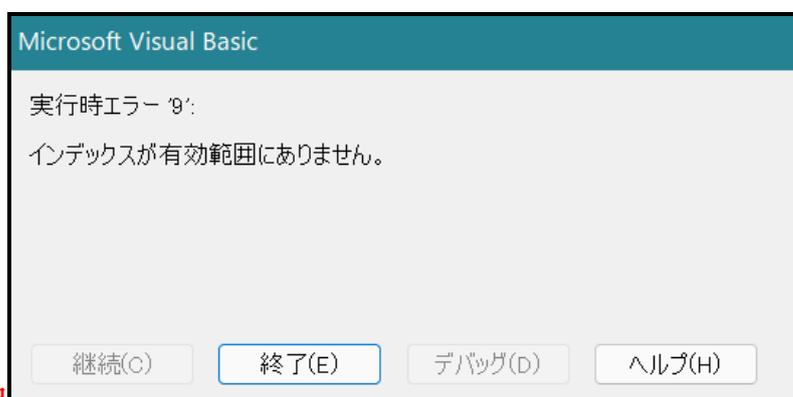
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 9] の画面になります。

[図 9] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中 **のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。**

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 100 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 9]



10. ファイル



CV-DataBaseAdvance8000Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

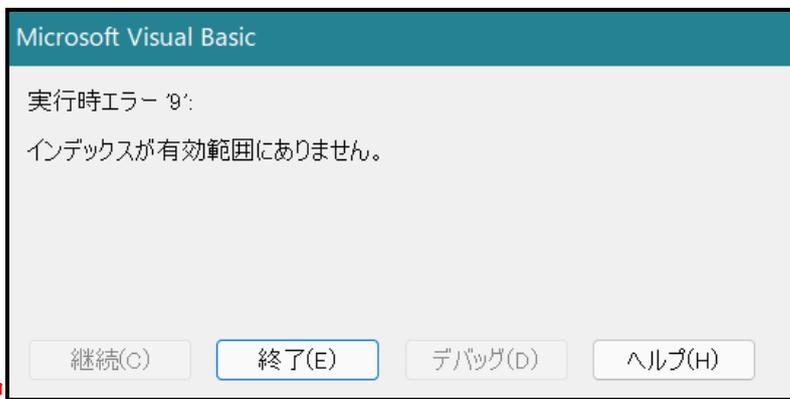
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 10] の画面になります。

[図 10] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図10]



11. ファイル

CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ○台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

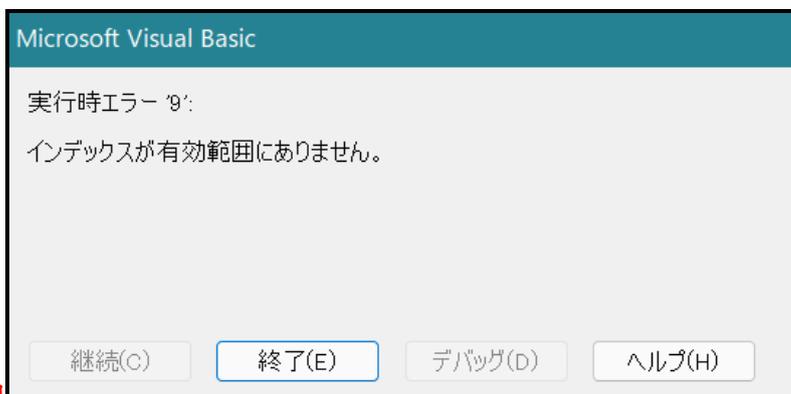
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の [図 1 1] の画面になります。

[図 1 1] の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



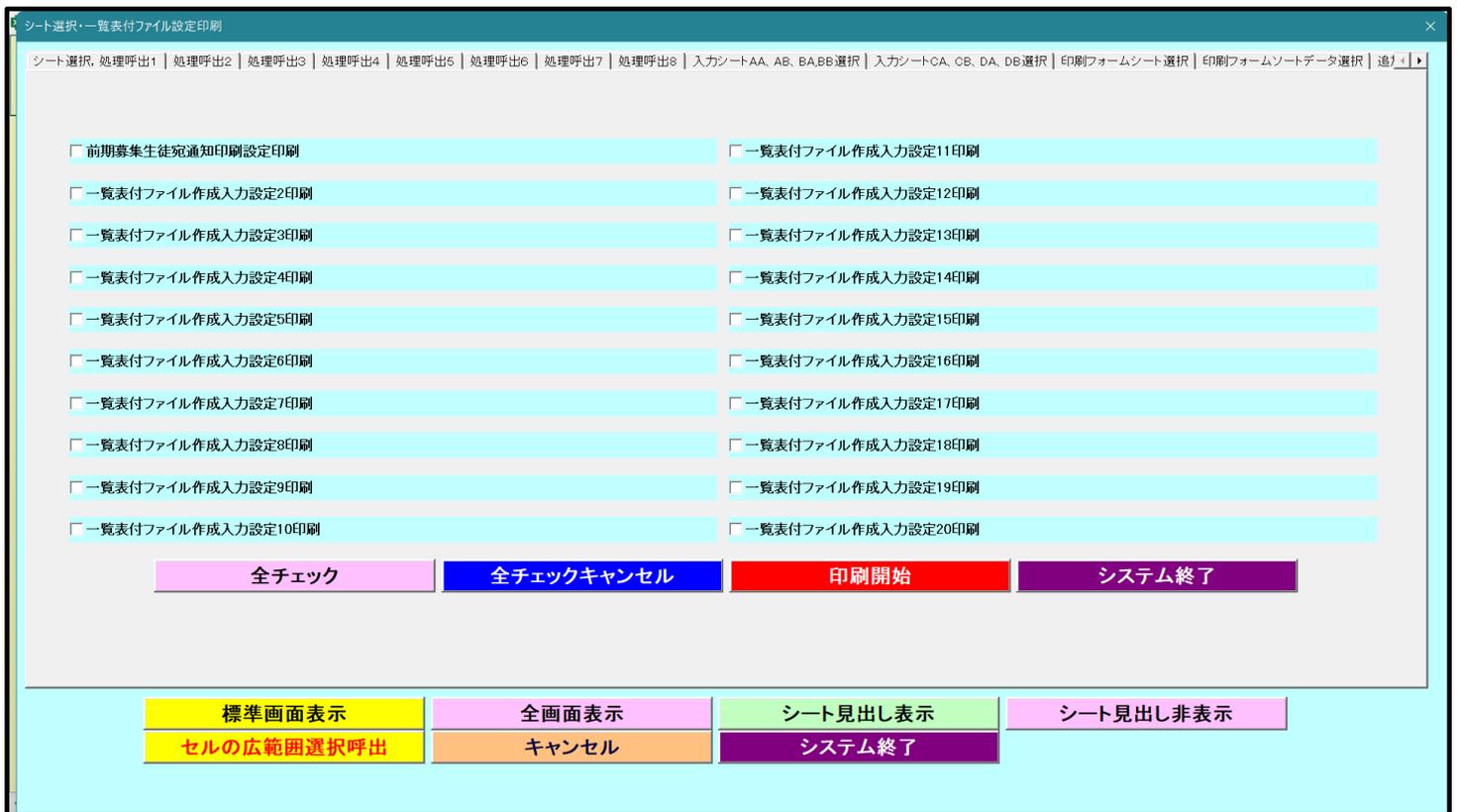
ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 1 0 0 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 1 1]



12. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 (コンピュータ ○ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

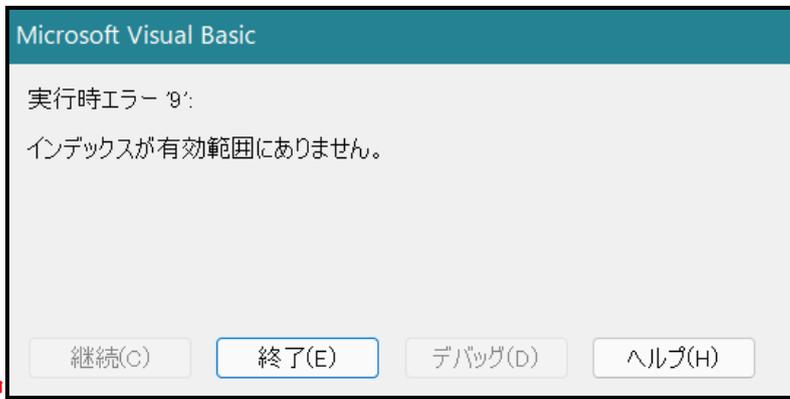
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定1選択印刷** を選択すると下の [図 1 2] の画面になります。

[図 1 2] の画面の 5 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意くださいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中

のエラーメッセージが表示されて印

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 1 2]



13. ファイル



CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

各シートに配置したコマンドボタン  をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ  を選択すると下の[図 1 3]の画面になります。

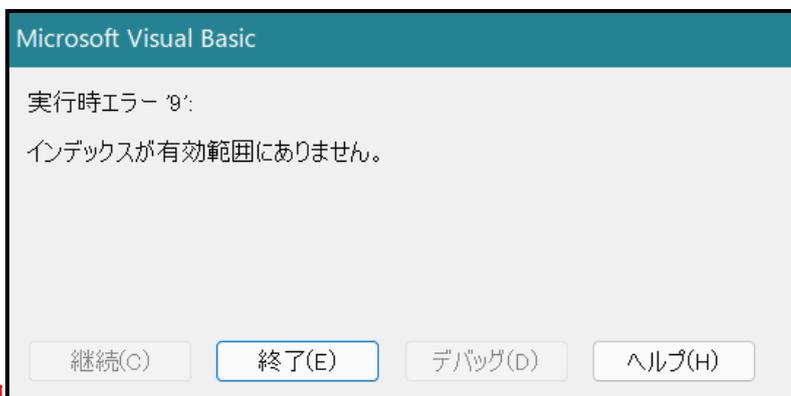
[図 1 3]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

 をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力

設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で 100 万枚の印刷設定が入力されている場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると 2000 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20 個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば 10 個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で 100 万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20 個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低 200 万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分を PDF ファイルとして作成し、それ PC に一旦保存し、その PDF ファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PC にそれ相応の空き容量が必要となります。仮に 1 メガの PDF ファイルを添付ファイルとして 1 0 0 万件メール送信すると仮定すると 1 テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 1 3]



14. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 (コンピュータ ○ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

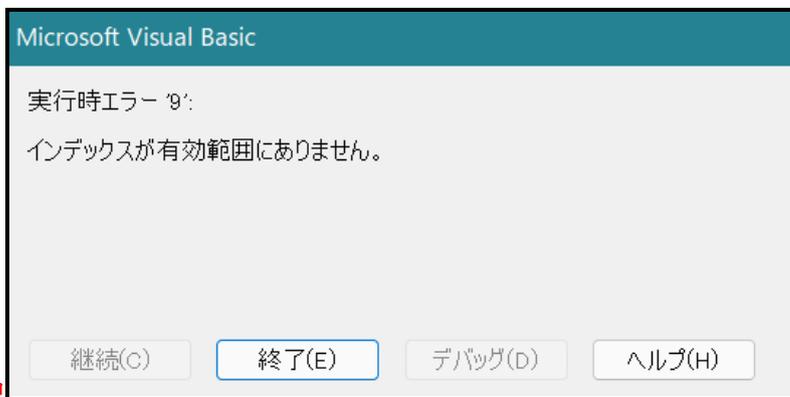
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定1選択印刷** を選択すると下の[図 1 4]の画面になります。

[図 1 4]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中

のエラーメッセージが表示されて印

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 1 4]



15. ファイル



CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 3台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

各シートに配置したコマンドボタン  をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ  を選択すると下の[図15]の画面になります。

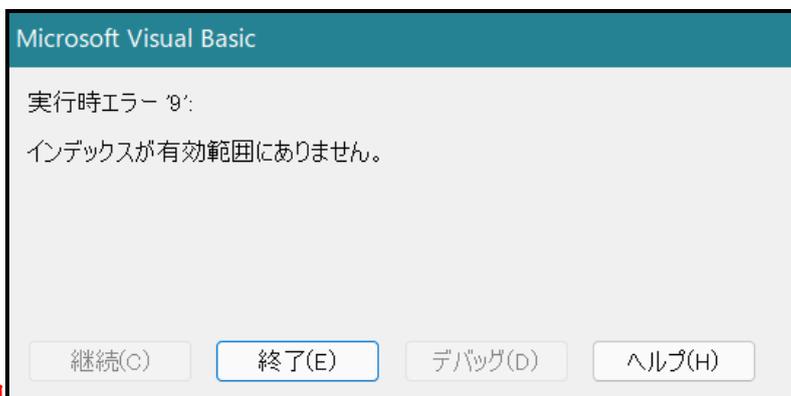
[図15]の画面の20個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

 をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力

設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における3つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 1 5]



16. ファイル



調査書等各種証明書作成システム Ver1 試用版 (CV-DataBase8000Ver1 サンプル) .xlsm



調査書等各種証明書作成システム Ver1 (CV-DataBase8000Ver1 コンピュータ○台リリース版

サンプル) .xlsm

の場合：

ファイル「2021 調査書等各種証明書作成システム Ver1 (CV-DataBase8000Ver1 コンピュータ 3 台リリース版サンプル) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

各シートに配置したコマンドボタン をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ を選択すると

下の[図 1 6]の画面になります。

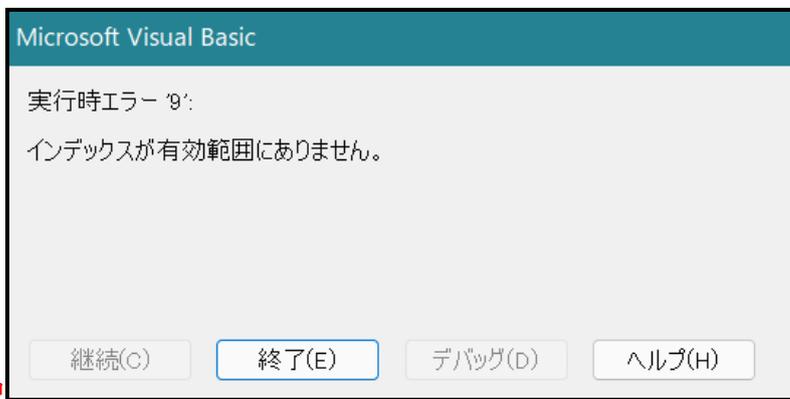
[図 1 6]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力

設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中

のエラーメッセージが表示されて印

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図16]



17. ファイル

平成28年度第3学年個人別会計報告学年分試用版 (CV-DataBase100Ver1 サンプル) .xlsm
 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1 コンピュータ○台リリース版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1 コンピュータ3台リリース版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

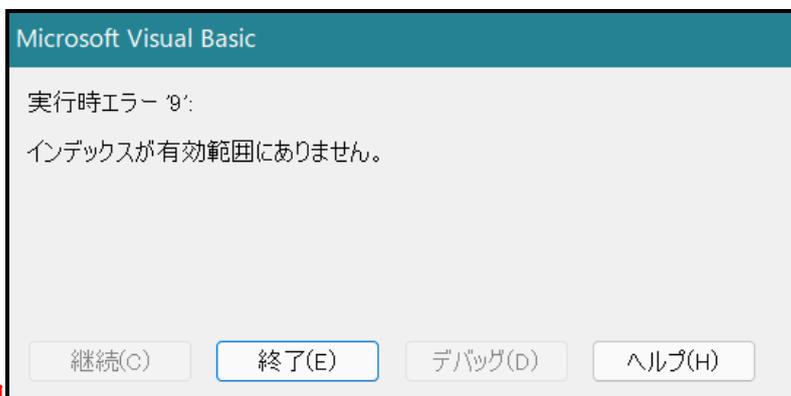
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の[図17]の画面になります。

[図17]の画面の20個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における3つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中で **のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。**

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 17]



18. ファイル

- CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsm
- CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

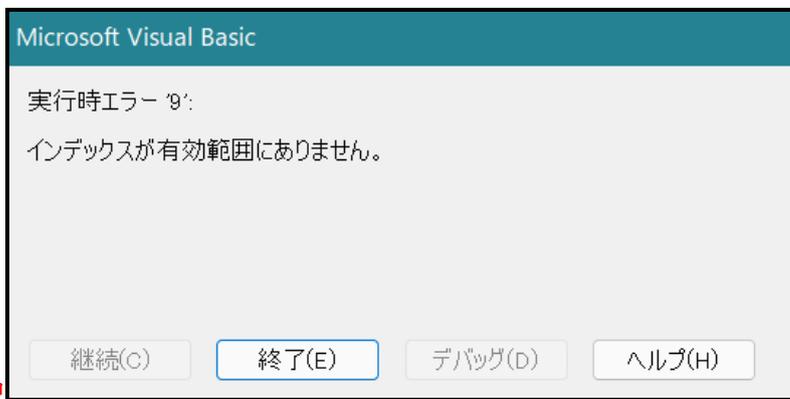
各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の[図 18]の画面になります。

[図 18]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始 をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデータ」で100万のレコードにデータを入力してシート「印刷フォーム」にデータを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図18]



19. ファイル

CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsm

CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 3台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

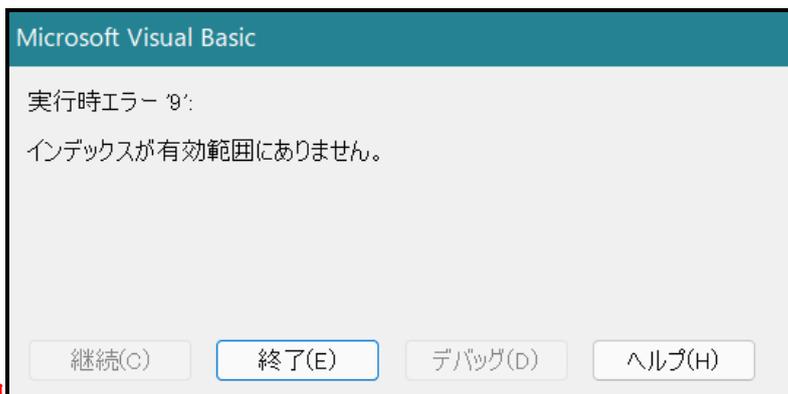
「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の[図19]の画面になります。

[図19]の画面の20個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における3つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、**チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され**



ていないと途中 **のエラーメッセージが表示されて印**

刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 19]



20. ファイル

CV-DataBaseMonster(Vol.)Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseMonster(Vol.)Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたしますが、やり方は、上のどのファイルでも全て同じです。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」の画面を表示させ、タブ **一覧表付ファイル入力設定選択印刷** を選択すると下の[図 20]の画面になります。

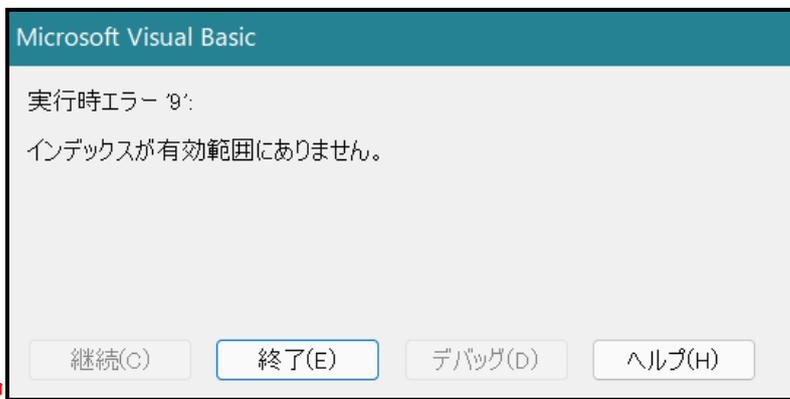
[図 20]の画面の 20 個のチェックボックスのうち、各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で印刷設定が入力されているチェックボックスにチェックを入れ、この画面のコマンドボタン

印刷開始

をクリックするとチェックを入れた各シート「一覧表付ファイル作成入力

設定」の「3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定」の最初の項目「印刷処理かファイルのメール送信の選択」における 3 つの処理「印刷する」、「メールで送信する」、「添付ファイルなし件名本文のみのメール」のうち選択した処理を行ってまいります。

ただご注意いただきたいのは、チェックを入れた全てのシート「一覧表付ファイル作成入力設定」で設定が入力され



ていないと途中のエラーメッセージが表示されて印刷が中断しますのでくれぐれもご注意ください。

なお、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て単票印刷形式で100万枚の印刷設定が入力されている場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると2000万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

また、20個の各シート「一覧表付ファイル作成入力設定」で全て複数レコードを表示して印刷する場合、例えば10個のレコードを表示して、しかもシート「印刷フォームソートデーター」で100万のレコードにデーターを入力してシート「印刷フォーム」にデーターを送って印刷する場合、20個のチェックボックスにチェックを入れて「印刷する」設定や「メールで送信する」設定で処理を実行すると最低200万枚の連続印刷やメール送信が理論上可能となります。

ただし、メール送信処理を行う場合、印刷部分をPDFファイルとして作成し、それPCに一旦保存し、そのPDFファイルをメールの添付ファイルとして送信するため、PCにそれ相応の空き容量が必要となります。仮に1メガのPDFファイルを添付ファイルとして100万件メール送信すると仮定すると1テラバイトの空き容量が必要となります。

[図 2 0]

